

# CRM協議会2005年度総会

## (報告資料集)

2005年5月18日

**CRM協議会:事業局**

〒166-8521 東京都杉並区梅里1-7-7

株式会社ヒューコム

ビジネスパートナー事業部内

TEL:03-5306-7305

E-mail:crm-office@solekia.co.jp

URL:<http://www.crma-j.org>

# アジェンダ



**第1：司会・来賓挨拶** 14時30分～14時35分

**第2：挨拶・講演** 14時35分～15時20分  
CRM協議会理事長 藤枝 純教

**第3：総会討議および承認事項**

2004年度活動報告と2005年度活動計画 各委員会会長

2004年度収支報告と2005年度収支計画

前事業局長と新事業局長

**第4：懇親会** 17時00分～19時00分

当会館3Fコスモスにて。是非、ご参加ください（@2000円）

# 2005年度CRM協議会の組織体制と役員

【順不同 / 敬称略】



Customer Relationship Management Association

協議会総会

理事会員

## 【一般会員15社】

ベリングポイント株式会社	中本 雅也
デジタルハリウッド株式会社ソリューションズ	大場 義紀
株式会社 東芝ソリューション	吉岡 弘生
パーソナライズシーオー・ジェイピー	門田 賢司
ネットセンチュリー株式会社	橋本 忠雄
グローバルエリアネットワーク株式会社	奥山 泰久
旭テクネイオン株式会社	井出 好則
イースト株式会社	長谷部 裕治
トヨタ自動車	平山 正弘
日産自動車株式会社	ビル・シン
株式会社アサツーディ・ケイ	青木 健
株式会社ミリオネット	大井 啓伊
日本ブロードビジョン株式会社	ジュセツベ 小林
株式会社セールスフォース・コム	宇陀 栄次
国内信販株式会社	中村 欣治

## 【役員10社】

理事長	理事会員C	グローバル情報社会研究所株式会社	藤枝純教
副理事長	特別会員	早稲田大学商学研究科教授	根来龍之
専務理事	理事会員A	日本IBM株式会社	門倉純一
専務理事	理事会員C	株式会社ヒューコム	井上 陽一
専務理事	理事会員C	ソレキア株式会社	小林 義和
常務理事	理事会員A	日本ビューレット・パッカー株式会社	石積 尚幸
理事	理事会員C	日本ピープルソフト株式会社	グレイグハリデー
理事	理事会員C	株式会社ヒューコム	匠 英一
理事	理事会員C	オニックス・ソフトウェア株式会社	青山 守
理事	理事会員C	株式会社ジャストシステム	田中 光
理事	理事会員C	ソレキア株式会社	奥谷 義典

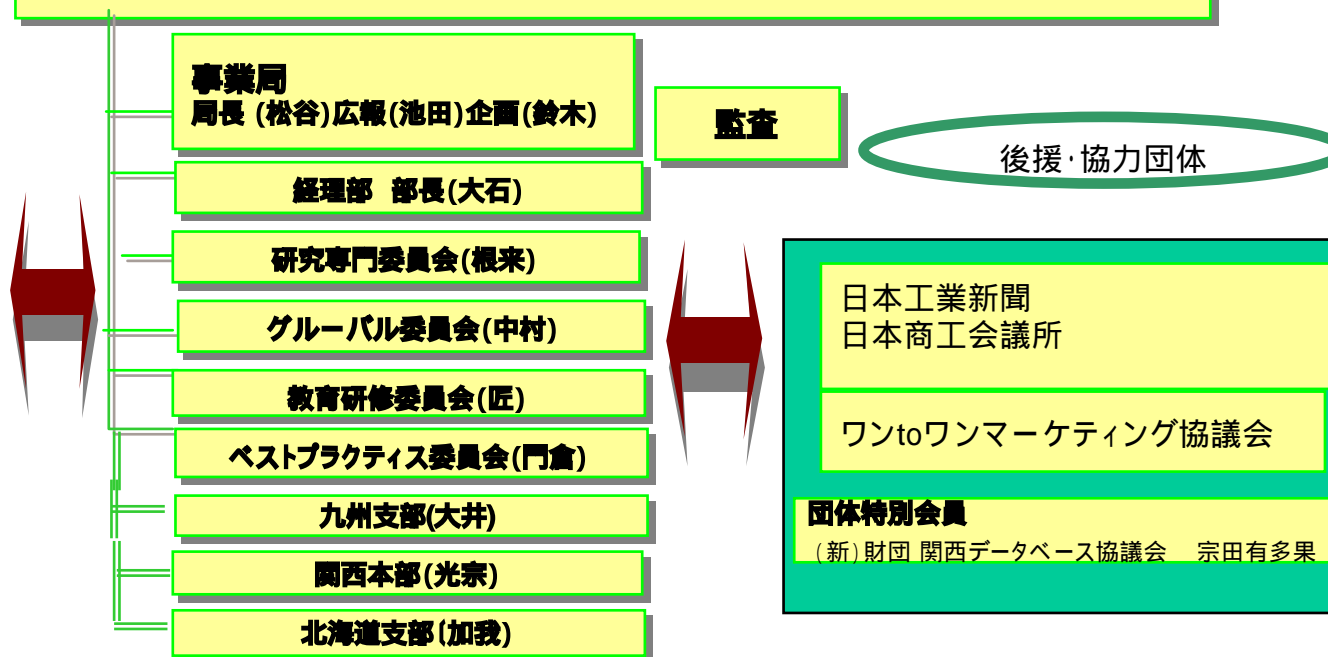
## 企画運営委員会 (理事長、専務理事、常務理事、各委員会長、事業局長、経理部長)

【個人会員】12名

【専門会員】11名

- 【九州支部】 21社
- 【関西本部】 10社
- 【北海道支部】 22社

各支部・本部の詳細会員は次ページ



## 2005年度CRM協議会関西本部会員及び支部会員

CRMA-J

Customer Relationship Management Association

【順不同 / 敬称略】

### 【関西本部】 10社

パーソナライズシーオージェイピー	光宗 英子	株式会社IT総合研究所	佐久間 剛志
株式会社神戸デジタルラボ	永吉 一郎	株式会社ホームプロ	大水 優喜
シルバーエッグ・テクノロジー株式会社	西村 淳子	株式会社エスエスケイ	佐々木 恭
株式会社PSD	宇野 俊明	株式会社株式会社チェンジ	神保 吉寿
株式会社サイバーリンクス	村上 恒夫	株式会社ミリオンセンス・コミュニケーション	黒岩 卓真

### 【九州支部】 21社

株式会社ミリオネット	大井 啓伊
秀巧社印刷株式会社	間 直樹
株式会社ジェイ・マーチ	辻 利則
トッパン・フォームズ株式会社	田中 敏彦
株式会社サトー 福岡支店	泉原 広明
株式会社アンソネット	大園 郁
株式会社船井総合研究所	藤崎 泰造
NTTコミュニケーションズ株式会社	有須田 秀治
有限会社Y.Kシステム	山本 浩介
ベルズシステムズ株式会社	小野寺 隆
有限会社地域活性事業センター	武田 龍吉
株式会社SRA西日本	安田 純
株式会社永田会計	永田 吉朗
株式会社談	丸野 香代子
有限会社オフィス エフ・エス	秋好 晴敏
インテリジェントレーベル株式会社	古賀 直記
有限会社RCC	鎌田 真司
ビジネスサポート有限会社	原口 光博
株式会社富士通ビジネスシステム九州支社	肘岡 俊臣
スイング株式会社	齋藤 雄一郎
株式会社プロデュースメディア	小森 健

### 【北海道支部】 22社

株式会社ポイントプラス	加我 稔
株式会社トライ・ビー・サッポロ	吉村 匠
株式会社デジック	中村 真規
株式会社スリフト	山内 紀久雄
函館インフォメーションネットワーク	泊出 利雄
総合商研株式会社	木嶋 亮治
大日本印刷株式会社北海道支部	樽野 行雄
電通サービス株式会社	田村 匠
リン-ケジサービス株式会社	八木 一郎
株式会社コンピューター・ビジネス	岸本 哲夫
株式会社ソフトエイジサッポロ事業所	江良 忠晴
フュージョン株式会社	花井 秀勝
アルファシステム株式会社	石塚 茂樹
株式会社イングシステム	有働 優
株式会社北海道ジェイ・アール・システム	田中 博敏
北海道CMC株式会社	黒田 信一
株式会社アドネット	菅原 憲一
太田綜合法律事務所	太田 勝久
株式会社シーズ・ラボ	山田 二郎
道東ライフプラザAT	池田 高明
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ北海道	林崎 博樹
いるかママ株式会社	菊池 春海

# 組織の体制と会員数



CRM協議会会員数 総数100

理事会員 10社 一般会員 14社

個人会員 12名 専門会員 11名

関西本部D会員 10社

九州支部D会員 21社

北海道支部D会員 22社

## 会員数の拡大

- ・関西本部の会員
- ・北海道支部の会員
- ・中部支部の設立準備
- ・本部会員数の拡大

**理事会員、一般会員からの紹介をお願いします。**

## 2005年度企画運営委員会体制(案)

<b>理事長</b>	グローバル情報社会研究所株式会社	<b>藤枝 純教</b>
<b>副理事長</b>	早稲田大学商学部教授	<b>根来 龍之</b>
<b>専務理事</b>	(兼)ベストプラクティス委員会 会長 日本IBM株式会社	<b>門倉 純一</b>
<b>専務理事</b>	株式会社ヒューコム	<b>井上 陽一</b>
<b>常務理事</b>	ソレキア株式会社	<b>小林 義和</b>
<b>常務理事</b>	日本ヒューレットパッカ ード株式会社	<b>石積 尚幸</b>
<b>理事</b>	(兼)教育研修委員会 会長 デジタルハリウッド大学	<b>匠 英一</b>
<b>理事</b>	(兼)関西担当	<b>奥谷 義典</b>
<b>事業局長</b>	株式会社ヒューコム	<b>松谷 幸洋</b>
<b>広報部長</b>	グローバル情報社会研究所株式会社	<b>池田 正満</b>
<b>企画部長</b>	株式会社 東和コンピュータ マネジメント	<b>鈴木 隆</b>
<b>経理部長</b>	ソレキア株式会社	<b>大石 悟</b>
<b>新規にグローバル委員会</b>	アッピ アコンサルティング	<b>中村健一郎</b>

## 2004年度各種会議の実施状況

---



5月25日(火)	16:30 - 18:30	理事会
6月21日(月)	14:00 - 18:00	理事会、選考委員会
6月24日(水)	12:30 - 17:00	理事会、総会、懇親会
8月4日(水)	13:00 - 15:00	企画運営委員会
9月16日(木)	16:00 - 18:30	拡大企画運営委員会
10月26日(水)	16:00 - 18:00	臨時理事会
11月25日(木)	13:00 - 19:30	ベストプラクティス授賞式&発表会、懇親会
1月13日(木)	15:00 - 17:00	拡大企画運営委員会
2月17日(木)	15:00 - 17:00	企画運営委員会
3月17日(木)	16:00 - 18:30	拡大企画運営委員会

## 2005年度各種会議の開催日程(案)

---



6月23日(木)	15:00 - 17:00	理事会
7月21日(木)	15:00 - 17:00	企画運営委員会
9月22日(木)	15:00 - 17:00	拡大企画運営委員会
11月24日(木)	13:00 - 19:30	ベストプラクティス授賞式&発表会
1月19日(木)	16:00 - 18:30	企画運営委員会
3月17日(木)	16:00 - 18:30	拡大企画運営委員会
(5月18日(水))	13:00 - 19:00	理事会、総会、懇親会)



---

# 会計報告・予算計画

---

**経理部 部長**  
**大石 悟 (ソレキア株式会社)**

# 2004年度収支報告書(2004年4月1日～2005年3月31日)



2004年度期首繰越	現金		7,229		
	普通預金	教育口座	500,000		
		事務局口座	6,247,450		
		繰越合計	6,754,679		
2004年度収支	会費収入		6,950,000		
	セミナー等収入		541,921		
	書籍代		4,000		
	受取利息		62		
		収入合計	7,495,983		
	活動費		795,000		
	セミナー費用		2,600,298		
	業務委託費		1,767,764		
	旅費交通費		1,029,666		
	広告宣伝費		488,040		
	消耗品費		331,009		
	会議費		970,433		
	通信費		90,586		
	新聞・図書費		274,741		
	荷造発送費		27,985		
	支払手数料		28,297		
	雑損		5,303		
		支出合計	8,409,122		
	当期収支残余金		-913,139		
2005年繰越額	合計		5,841,540		
	(内訳)			残高確認	差異
	現金		50,871	50,871	0
	普通預金	教育口座	500,000	500,000	0
		事務局口座	5,290,669	5,290,669	0
			5,841,540		

-----監査報告-----

**2004年度の収支に関し  
問題ありません。**

監査

(旭テクネイオン株式会社)

井出 好則 印略

平成17年5月18日

## 2005年度予算計画案(期間 / 05年4月 ~ 06年3月末)

### <収入の部> 総収入予算額 ￥8,550,000

(内訳)

会費	￥7,500,000-
CRMセミナー関連収入	￥1050,000-
(繰越金)	￥5,841,540-

### <支出の部> 総支出予算額 ￥7,830,000

事務局の運用管理予算の総計: ￥2,030,000

(内訳)

事務局管理・人件費	￥800,000
通信・事務雑費	￥40,000/月 × 12ヶ月 = ￥480,000
Webホームページ作成の維持、運営費	￥750,000

活動費予算の総計: ￥5,800,000

(内訳)

セミナー関連	￥2,200,000(GIS主催のCRMフォーラム含む)
教育研修委員会	￥400,000
ベストプラクティス委員会	￥200,000
事業局	￥1,000,000
ベストプラクティス賞関連	￥2,000,000
予備費	￥3,000,000
<b>ベストプラクティス出版事業</b>	<b>(剰余金より充当)</b>

## CRM協議会2005年度会員種別と年会費

理事会員A (ベンダー)	600,000円 / 年	
理事会員B (ユーザ)	300,000円 / 年	
理事会員C (発起人等)	300,000円 / 年	
一般会員A (ベンダー)	200,000円 / 年	
一般会員B (ユーザ)	100,000円 / 年	以上本部会員
個人会員	30,000円 / 年	
専門会員(個人)	10,000円 / 年	
九州支部会員	30,000円 / 年	
北海道支部会員	30,000円 / 年	
関西本部D会員	30,000円 / 年	
本部/支部E会員(大手企業の部門)	50,000円 / 年	



---

# 事業局及び各委員会の報告

---

**事業局**  
**事業局長:松谷(株:ヒューコム)**

# 事業局の活動計画概要

---



本年度は協力いただいている日本商工会議所、日本工業新聞社、金融系業界の団体などと提携して、次のような活動に向けた支援事業を強化し収益的なサービスを展開する。

## 1: CRMサービス支援事業案のサポート

CRMコンサル診断支援のサポート

## 2: CRMの講師資格制度の推進サポート

CRM協議会が認定する「CRMインストラクター資格」の実施

## 3: CRMベストプラクティス白書作成の事業サポート

2005年度「CRMベストプラクティス白書」を12月までに作成出版

# 事業局の事業化計画



## ¥3,000,000収益増収プラン

### 1: CRMサービス支援事業案のサポート

有料CRMセミナーを開催する。(セミナーにリファレンスガイド、白書を加えて)

一人¥10,000の20名単位のセミナーを年3回実施      ¥600,000

### 2: CRMの講師資格制度の推進サポート

CRM協議会が認定する「CRMインストラクター資格」のライセンス化を実施

本年度は収益とならないが、その礎をつくる。

### 3: CRMベストプラクティス白書作成の事業サポート

2005年度「CRMベストプラクティス白書」を12月までに作成出版

会員価格一冊¥2,000    ¥5,000で販売    収益¥3,000×会員数100名×一人5冊販売していただければ    ¥1,500,000の収益となります。また企業研修用として企業への営業活動を行います。

一社5冊購入で60社に販売    ¥900,000



---

# 各委員会の活動報告

---

**ベストプラクティス委員長: 門倉純一 (日本IBM)**  
**教育研修委員長: 匠英一 (デジタルハリウッド大学)**

## 昨年度の「ベストプラクティス委員会」の活動成果と課題

インタビュー実施: 24社実施

授賞企業10社選出

- ・アールエスコンポーネンツ株式会社(新規ビジネス戦略モデル)
- ・オムロンフィールドエンジニアリング株式会社(ビジネス変革モデル)
- ・キヤノン販売株式会社(パートナーCRMモデル)
- ・株式会社コスモスライフ(カスタマーモデル)
- ・札幌市役所(自治体CRMパイロットモデル)
- ・スルガ銀行株式会社(リーダーシップモデル)
- ・株式会社千趣会(データドリブンモデル)
- ・株式会社ニチレイ(リスク管理型CRMモデル)
- ・ノバルティスファーマ株式会社(セールス変革モデル)
- ・協同組合ほくほくスタンプ会(地域活性化モデル)
- ・富士通株式会社(ベンダー賞)
- ・日本アイ・ビー・エム株式会社(ベンダー賞)
- ・マイクロソフト株式会社(ベンダー賞)

課題点

1. すべてインタビュー方式のため、インタビュアーのWorkloadがかかった。
2. 白書との関係が明確でなかったため、調整を必要とした。
3. 選定基準や募集案内などについて、明確

# 2005年度の「ベストプラクティス委員会」活動計画・予定



## 全体の予定

実施時期	実施項目	作成資料	応募・絞り込み数
4月～7月末	参加団体・企業の募集	応募案内	40団体募集
5月～8月末	1次審査	1次審査実施ガイド	40 20団体絞り込み
5月～8月末	最終審査向けインタビュー	インタビュー実施ガイド	ベストプラクティス賞10社とその他の賞(ランナップ)10社程度を決定
10月上旬	最終審査	最終審査実施ガイド	
11月上旬	受賞企業発表	プレスリリース	
11月下旬	授賞式	発表資料レジュメ	受賞20社発表

## 募集計画

募集ルート	概要	募集数
ベンダー会員	ベンダー会員の顧客からCRMに取り組んでいる団体・企業を紹介いただく	20
商工会議所	日本商工会議所経由で地方にてCRMに取り組んでいる企業・団体を紹介いただく	若干数
フジサンケイ	フジサンケイ ビジネスアイ経由でCRMに取り組んでいる企業・団体を紹介いただく	若干数
有識者等	CRM関連の有識者やマスコミ等の紹介や広報を利用	10以上

## 主要変更点

- 書類による1次審査の実施
- インタビューとプレゼンの選択
- ベストプラクティス10社、その他10社程度

## 2005年度の「ベストプラクティス委員会」活動計画・予定

### 選考委員

選考委員長	CRM 協議会理事長	グローバル情報社会研究所株式会社	藤枝 純教
副委員長	CRM 協議会副理事長	早稲田大学商学研究科教授	根来 龍之
委員	専務理事	日本アイ・ビー・エム株式会社	門倉 純一
委員	専務理事	株式会社ヒューコム	井上 陽一
委員	専務理事	ソレキア株式会社	小林 義和
委員	常務理事	日本ヒューレット・パカード株式会社	石積 尚幸
委員	理事	デジタルハリウッド大学教授	匠 英一
委員	CRM 協議会後援	日本商工会議所	高野 時秀
委員	CRM 協議会後援	フジサンケイビジネスアイ	岡田 英雄

### ベストプラクティス白書との連携

取材企業の取材報告書、授賞式で使用した受賞者の発表資料を元に、「2005CRMベストプラクティス白書」の事例集原稿を作成する。

## 昨年度の「教育研修委員会」の成果と課題

---

### — CRM専門講座 計3回実施

---

毎年3回以上開催している単発のセミナー。 毎回、20名前後の参加した。  
参加費は、会員は無料。一般は2000円～1万円程度。

### — 「CRM能力養成特別講座」 計4回毎月連続で実施

---

シリーズで計4回実施し、専門家を養成するレベルの高いもの。 統一テーマは別途検討する。  
会員は無料だが、非会員は1回受講で2万円、4回連続の場合は7万円（04年実績より）。  
各講座ごとに講師認定の1ポイントを付与する。  
04年度は毎回平均25名が参加し継続して参加したのも7割いたことから、05年度も実施したい。

### — 「CRM診断ツール活用研修」 計2回実施

---

CRM診断を商用サービスとしてクライアントなどに行う方法とその事例など紹介する。  
これまで、「CRMプロセス診断表」の活用法として研修していたが、本年からは新たに中小企業にも活用できるツールを開発し、そのツール利用をさまざまな視点から研修することを検討中。  
研修参加は、会員は無料とし、一般非会員は1万円前後とする。

# 2005年度「教育研修委員会」の活動計画1



## CRM協議会の認定講師の資格制度

### ポイント式での評価基準

講師向けの講座で3時間の受講時間を1ポイントとして当会の合宿と専門講座の総計で10ポイントの基準まで達した者を資格審査対象とする。

ただし、最低1年以上のCRM関連業務の経験があることとする。  
また、当会の白書や情報サービスでの協力経験も加算して得点とすることができる（上限3ポイントまで）。

例） 2日間の夏季合宿参加者は3ポイント取得。  
白書レポート執筆担当した者は1ポイント取得。

### 資格認定の方法

上記10ポイントに達した者で、審査を希望する旨を当会事務局に申請し、書類審査と面談審査を受ける。

面談審査については当会主催で模擬講演（10分）を各自してもらい、その結果を当会の審査委員が評定する。

すでにこの方法で昨年夏季合宿にて行っていることもあり、より明確にした方法を事前に受験候補者にも告知しておく。

審査委員候補としては、専門家として既に実績を有するもの5名程度を選定し、選考の面談では2名の審査委員で行い評定の合計点で合否を決める。

審査料は（1人につき、2万円）。年に2回審査を実施。

### 資格取得者のメリット

**認定CRMインストラクター**（仮称）の称号を名刺や自社のセミナー案内等にも使用できる。

また、CRM協議会の開催する各地商工会議所との共催セミナー講師候補として当会サイトに登録掲載される。

## 2005年度「教育研修委員会」の予算計画

### 教育研修委員会の申請予算額

支出総計：100万円

教育研修セミナー：計8回開催 = 40万円

1回 = 5万円（講師料1人につき2万円×2名）+ 会場費等

資格認定制：認定研修費 = 計20万円（計3回分：会場費5万円含む）

：基本教材費 = 計20万円（教材印刷ほか）

合宿：20万円

教育研修委員会の収益予測：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

収入見込み：105万円

教育研修セミナー：計8回開催 = 20万円

資格認定制：認定研修収入 = 60万円（一人2万×30人）

合宿：25万円

## 2005年度「教育研修委員会」の活動計画3

### CRMの共通教材作成と資料の有料販売化

#### 共通教材の作成とWG体制

すでに利用した教材や協議会主催で野セミナー資料を専門メンバーで持ち寄り、その選別を4月7日トスラブ山王会議室でWGチーム（責任者候補に匠理事）で行う。

それらの選別したものから、より見栄えよくカスタマイズ改良をして教材とする。また、一定のボリュームが収集できれば、テーマ別に資料集としていく。

ただし、重要度の高いものから順次、増やしていく。

#### 資料の有料化・販売の方法

協議会用として特定された教材・資料については、著作権と利益配分を明確にしたうえで、当会のサービス販売の対象とする。

販売方法としては、当会サイトからのPDFデータ形式での配布を基本とする。

集金・課金は、事務負担が発生しないよう工夫しておく。

（ID・パスワードを入金確認後に送るなど）

## 2005年度「教育研修委員会」活動スケジュール

### 教育研修委員会2005年度活動内容

印は企画中であり未定ですのでご注意ください。

#### <05年度行事日程>

- 2005年 5月 CRM専門セミナー（第16回）  
「認定CRMインストラクター」試験（第1回）
- 2005年 6月 CRM協議会総会  
春季特別合宿（九州支部主催）/24日 25日開催
- 2005年 7月 GISフォーラム（CRM協議会共催）/12日開催  
CRM専門セミナー（第17回）
- 2005年 8月 「CRM診断ツール活用（仮称）」第1回研修
- 2005年 9月 夏季特別合宿（東京本部主催）/10日 - 11日開催
- 2005年10月 CRM専門セミナー（第18回）
- 2005年11月 CRM協議会ベストプラクティス賞発表大会  
リックテレコム主催：コールセンター・CRMエキスポ
- 2005年12月 「認定CRMインストラクター」試験（第2回）  
「CRM能力養成特別講座」第1回
- 2006年 1月 「CRM能力養成特別講座」第2回  
「CRM診断ツール活用（仮称）」第2回研修
- 2006年 2月 「CRM能力養成特別講座」第3回
- 2006年 3月 「CRM能力養成特別講座」第4回



---

# 各支部の報告

---

九州支部  
関西本部  
北海道支部

# 九州支部：2004年度活動結果と2005年度の活動計画

## 2004年度活動結果

活動内容	参加者数
4/7本部活動説明会(匠理事)	10名
4/27幹部会議(2004年度活動指針策定)	3名 60名
5/22CRM実践講座(匠理事)	21名 30名
6月～7月福岡県内商工会議所訪問	9ヶ所
8/27～28日本部主催研修会参加	3名 60名
9月～10月宮崎・鹿児島県内商工会議所訪問	5ヶ所
11.10協議会活動に向けての研修(匠理事)	9名
12.10自治体CRMセミナー(富士通ビジネスシステム共催)	
1.19福岡商工会議所ITセミナー	90名
1.26大分臼杵商工会議所ITセミナー	不明
2.3鹿児島商工会議所ITセミナー	58名
2.15富士通ビジネスシステム宮崎支店共催セミナー	23名
2004年度支部会員ミーティング(延12回)	延106名

## 2005年度活動計画

活動内容	募集予定数	
6/24～25日CRM合宿研修	10社	10名
9/9九州支部開設1周年セミナー(福岡)		60社
9/23九州支部開設1周年セミナー(長崎)		30社
9月～CRM実践モデル企業選出及び実践		1社
2月CRMモデル企業実践結果報告セミナー		60社
7～9月会員企業共催セミナー	60社	60名
11～1月会員企業共催セミナー	60社	60名
	38名	

# 九州支部：CRM研修合宿の計画について

## 第一回CRM研修合宿のお知らせ

主催 CRM協議会九州支部：責任者/支部長 大井啓伊 氏

日時 平成17年6月24日(金)19:00～25日(土)16:00

場所 国民年金健康センターグリーンヒル若宮 所在 福岡県鞍手郡若宮町大字脇田778-1 TEL 0949(54)0305

費用 (1泊3食;夕・朝・昼、博多まで送迎付) CRM 会員 = 10,000円、非会員 = 18,000円

### 主任講師

- 匠 英一 CRM協議会 理事(デジタルハリウッド大学 デジタルコミュニケーション学部 教授)
- 丸山 悟 CRM協議会 ソリューション委員会 副委員長(元ベリングポイント社 ディレクター)

### スケジュール

- 24日18:30～ 夕食
- 20:00～ 「なぜ今CRMか? :セールス・サービス戦略の発想法」匠講師
- 21:10～ 「顧客中心のマーケティング戦略の発想法」(仮称) 丸山講師
- 25日 9:00～ 「講師予定者による講演実習」 支部会員3名
- 13:00～ 「CRM実践に関わる自由討議」 全員
- 15:00 解散

# 関西本部：2004年度の活動結果と2005年度の活動計画

## 2004年度活動結果

活動内容	参加者数
5/20準備ミーティング	5名
6/3本部事務局との打ち合わせ	4名
6/4設立記念セミナー	46名
7月～9月関西関連入会候補企業、団体等訪問	
10/22関西本部セミナー	50名
2 - 3月 個人情報保護勉強会	有志
2004年度支部会員ミーティング(随時)	

## 2005年度活動計画

活動内容	
2005年度支部会員ミーティング(随時)	
関西本部セミナー(上期、下期2回程度)	
支部会員有志による個人情報保護勉強会(一般公開)	
	随時
2月CRMモデル企業実践結果報告セミナー	
	随時

## サマリー

関西本部は、2004年6月発足後、実質まだ1年も経過しておりません。

まずは、基本的な組織体制を構築できるだけの会員数を獲得することを目的とし、それまでは準備的段階と位置けてスタートしてましたが、その意味では、現状、まだ模索段階にあり、十分な運営体制を築くことが出来ていません。

今期は、主体的に組織を推進していけるコア人員の獲得と、それを核とした組織基盤づくりを継続して模索していきたいと思っております。

# 北海道支部：2005年度の活動計画

## CRM協会北海道支部2005年度の活動計画案

現況：北海道支部は、本年7月をもって設立1年を経過。本部の助力を得ながら可能な活動を行ったことにより、会員の声も得られ始めてきています。北海道の経済低迷の中、今年1年かけ本部主旨に添える北海道支部を整えるべく下記計画を策定しました。

### 年次総会及び1周年記念講演

#### 1. 昨年7月発足から満1年に当る7月上旬(7月15日頃予定)に総会と記念講演を計画

総会：30分～45分： 記念講演：本部より講師招請 参加予定人数 50名(会員企業及び関係会社など)

#### 2. 会員企業向けセミナー開催

・年3回程度(9、11、2月頃) ・うち1回は本部より講師を招聘(合宿形式)

#### 3. 支部調査活動

- ・今年度活動に向けての会員要望の調査(6月までにまとめ)
- ・会員企業のCRM度調査(10月実施予定)

#### 4. 支部会報の発行

- ・年に2回(9、3月発行)
- ・上記の調査活動結果など、会員間の情報交換を対象とした内容